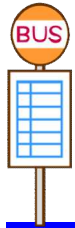


バスに乗って、出かけよう。



Happy Ride in Shizuoka



Project

～小学生バス無料デーの実施～

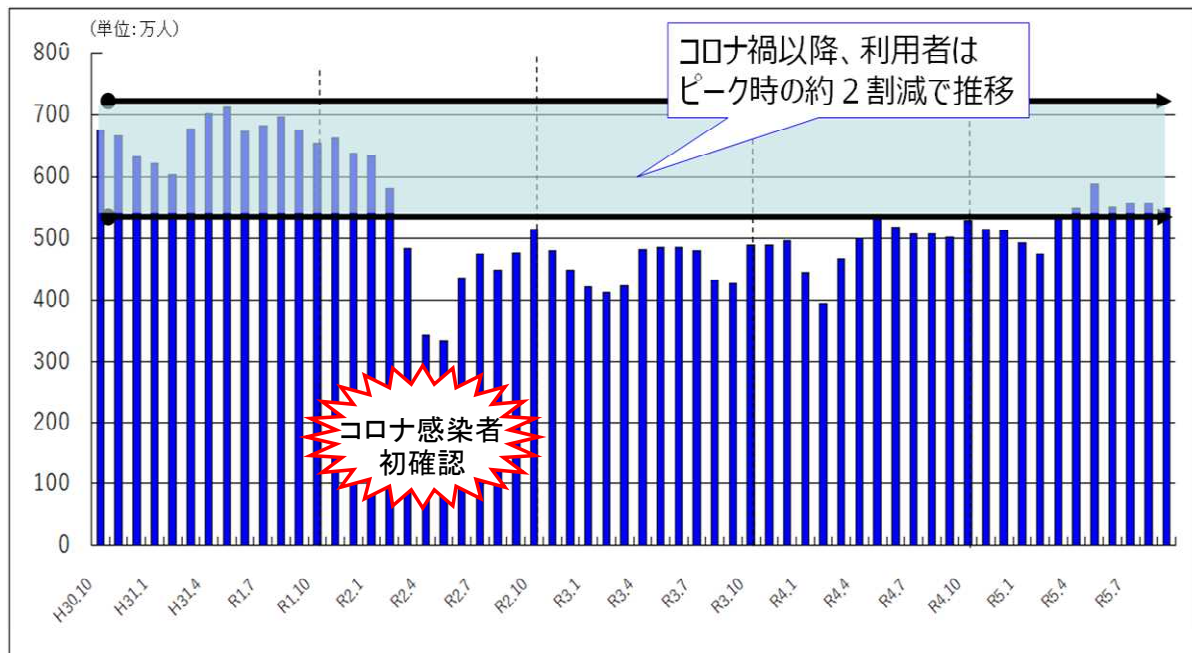
ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会
(事務局：静岡県バス協会、県地域交通課)



背景

✓コロナ禍が拍車をかけた乗合バスの乗車人員の減少

✓運転手のなり手の不足、高齢化による更なる運転手不足への危機感



(静岡県地域交通課調査)

(一社) 地域公共交通総合研究所がR5.11に全国のバス事業者を対象に実施したアンケート回答者のうち、

全仕業に対して、**99%が運転手不足**と回答

運転手不足への対策として**回答事業者の半数が「減便」、約3割が「路線廃止」を計画**

バス事業者「運転手不足」99%

地域公共交通総合研究所 (地公研、岡山市) が全国のバス事業者を対象に運転手不足に関するアンケートを実施し、応じた事業者の99%が「不足」と回答した。多くが対策として減便や路線廃止を検討している。地域交通サービスの水準低下や消滅が懸念される実態が鮮明になった。金剛自動車 (大阪府富田林市) は今月、運転手不足と利用者減少を理由にバス事業を廃止している。

調査は11月、全国308のバス事業者を対象に書面で行った。68社から回答を得た。運転手の残業上限を年960時間にするなどの規制が2024年4月から適用されるのを前に、現状を探った。運転手が不足していると答えた67社のうち、不足数は10人未満が最多で46%。30人以上は16%に上った。雇用促進以外で検討している対策(複数回答)を尋ねると、減便が47%、路線廃止が34%だった。廃線の計画数は大半が4路線以下だったが、「40路線規模」の事業者もあったという。残業規制適用を延期すべき

対策	割合
減便	47%
路線廃止	34%
乗合会社との運行効率化	13%
その他	4%
無回答	10%

※地公研調査による

地公研調査「減便・路線廃止を検討」多数

か問うと、回答した58社の賛否はほぼ半々に割れた。ただし、いずれも運転手不足への不安感がうかがえる。地公研は、少なくとも新型コロナウイルス禍で失った期間と同じ3年間、運転手不足の解決に向けては、他産業より低い待遇の改善が必須だと指摘する。路線再編や車両の小型化などの経営努力を続けながら、①運賃の引き上げ②国や自治体が車両などを持ち民間が運行を担う「公有民営」への転換といった改革が急務とした。小嶋光信代表理事(岡備グループ代表兼最高経営責任者)は記者会見で「交通の崩壊が地域崩壊につながる危険水域に入った。2024年問題で資金がダウンすれば雪崩現象になる」と説明。運転手の待遇改善がサステナブル(持続可能な公共交通維持の前提)にも強調した。

2024.1.5静岡新聞

目的

- 小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- 地域の足を支える運転従事者に「感謝とリスペクト」する
気持ちを育み、将来にわたり社会全体で地域公共交通を支える意識を醸成
- 皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減



実施概要(案)

概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、

県内全ての小学生を対象にバス無料デーを実施する。

(全県規模の実施としては前例のない取組)

項目	内容
対象者	県内の全小学校 524校 約178,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校含む)
実施予定日	令和6年12月7日(土)～8日(日) 2日間
対象路線	県内乗合バス事業者路線(貸切、観光バスを除く) 市町自主バス路線(実施可能な市町)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員:国、県、市町、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局:静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター

【参考】費用と経済効果

※2023年11月にしずてつジャストラインが静岡市で実施したフリー乗車券の発行・配布した実績をもとに記載

項目	内容	詳細
費用	1,069,020円	(内訳) ・乗車券印刷代 537,600円 ・チラシ印刷代 (郵送料含む) 466,000円 ・乗車券郵送代 65,420円
効果	1,236,552円	フリー乗車券利用者の同伴者(大人)利用者数 ×定期外平均単価201円×往復として算出

静岡市内	
学校数	95校
児童数	31,751名



実施概要(スケジュール)

月日	内容
4月24日	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会の設立
5月中旬～	各学校に小学生バス無料デーの実施通知、校長会等での説明（県）
5月下旬～	市町地域交通会議等での説明（県）、運賃協議会での承認（市町）
6月～	実施路線の特定、特設サイトの開設、沿線の公的施設等への協力依頼
10～11月	各学校経由で小学生に無料デー啓発チラシ（兼フリーチケット）を発送 各種広報、啓発イベント等の実施、プレスリリース（11月中旬頃を予定）
12月7～8日	小学生バス無料デーの実施
～1月下旬	利用者アンケート等のとりまとめ（効果検証）



バスにのって、でかけよう。

小学生バス 無料デー

小学生は
無料「0円」で
何回でものれ
るよ！



Happy Ride in Shizuoka Project



実施予定日 令和6年12月7日(土)～8日(日)

- ・期間中、静岡県内の小学生は無料で何度でも乗車できます。
- ・無料乗車エリアは、静岡県全域です。
- ・対象路線は特設サイトに掲載していきます（特設サイトは6月以降OPEN予定）
- ・各家庭にお知らせするリーフレットは、11月中旬頃に各学校にお送りします。



実施の目的

- ・小学生のバス利用を促進し、バス利用者数の向上を目指します。
- ・地域の足を支えるバスドライバーに「感謝とリスペクト」する気持ちを育むことで、地域公共交通を支える意識を醸成します。
- ・皆でバスに乗り合うことにより、CO2の削減を目指します。

山間地などまちから離れた場所に
住む人々の移動手段を守ります。

お年寄りや体が不自由な人の移動
手段を守ります。

バスは環境にもやさしい
乗り物です。

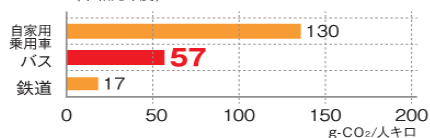
(CO2の排出量は自家用車の半分以下)

バスに乗ると、
こんなに
「いいコト」が
あるよ！

雨の日に道が混むのを和ら
げたり交通事故を減らす効
果があります。

地域の人と乗り合うことで
コミュニケーションが
生まれます。(運転手さんに
感謝の気持ちを伝えることも
大切です。)

〔図E〕 輸送量当たりの二酸化炭素排出量(旅客)
(令和元年度)



国土交通省HP「環境運輸部門における二酸化炭素排出量」

主催 ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会

(国土交通省中部運輸局静岡運輸支局、静岡県、(一社)静岡県バス協会、乗合バス事業者、市町)

(問い合わせ) 静岡県交通基盤部地域交通課 054-221-3186